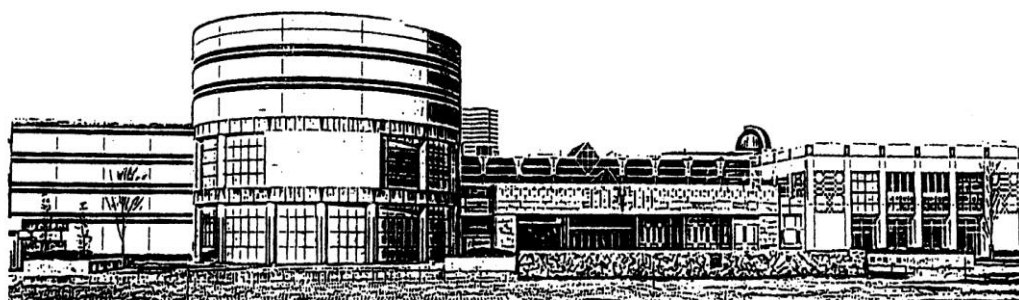


倉敷科学センター

令和 6 年度事業年報



令和 7 年 6 月

年報の発刊にあたって

令和6年度事業のまとめとして、「年報」を発刊するはこびとなりました。一般的に私たちは感染症を極度に恐れなくなり、倉敷科学センターも順調に運営できたことを、まず御報告申し上げます。

さて現在、当館で上映しているプラネタリウム番組「宇宙の話をしよう」の中で、ジュール・ベルヌ作の小説『地球から月へ』（1865年出版）が多くのロケット開発者に動機を与えたという事実が紹介されています。私はフィクションの世界である文学と、理論的な科学とは正反対の分野だと考えていたので、たいへん驚きました。

ロケット開発者とは、ツィオルコフスキー（ロシア）やゴダード（アメリカ）、オーベルト（ドイツ）などの黎明期の科学者たちのことで、ベルヌ（フランス）をはじめとしたSF小説がなければ、ロケットや宇宙探査の歴史は遅れていたかもしれません。

このたび私もベルヌ作『月世界旅行』※を読んだところ、理屈抜きで楽しめました。面白いからこそ、感受性豊かな若者たちを触発できたのでしょう。

科学館の中で、文学部卒業の私は肩身が狭かったのですが、物語が科学の発展に寄与したことを知って、少し誇らしい気持ちになりました。これからも文学や芸術が科学に^{ひらめ}きを与える可能性は大いにあるでしょうし、逆もまたそうなのだろうと期待しています。

※『月世界旅行』は、『地球から月へ』を基にした作品

末筆ながら、当館を御利用いただいている皆様と、御支援を賜りました関係各位に厚く感謝を申し上げますとともに、今後も変わらぬ御理解と御指導をお願いして巻頭のごあいさつといたします。

令和7年6月

倉敷科学センター 館長 浅野 光正

目次

I センターの概要

1 設置の経緯	4
2 目的と事業内容	4
3 施設概要	4
4 施設レイアウト	5
5 運営体制	5
6 文化財天体観測室（旧倉敷天文台スライディングルーフ観測室）	6
(1) 施設概要	6
(2) 一般公開	6
7 真備天体観測施設（たけのこ天文台）	7
(1) 施設概要	7
(2) 利用状況	7

II 事業の概要

1 展示室運営事業	9~13
(1) 科学展示室	9~11
(2) 特別展示室	11~12
(3) 観覧料	13
2 プラネタリウム運営事業	14~18
(1) 一般投映	14
(2) 全天周映画	14
(3) 学習投映	14
(4) 投映スケジュール	14
(5) 上映番組	15
(6) 上映実績	16
(7) 観覧料	16~17
(8) 観覧者数の実績	18
(9) 観覧料の実績	18
3 講座・イベント・教育普及事業	19~35
(1) わくわく工作室	19
(2) わくわく実験室	20
(3) 科学工作教室	21
(4) 親子科学教室	22

(5) 科学実験教室	22
(6) 科学チャレンジ教室	23
(7) おとなが学ぶサイエンス講座	23
(8) 親子天文教室	24
(9) プラネタリウムコンサート	24
(10) プラネタリウム特別投映	25
(11) 3.11 プラネタリウム特別投映	25
(12) アストロクラブ	25
(13) 天体観望会	26
(14) 特別天体観望会	27
(15) 天文台公開	27
(16) 移動プラネタリウム	28
(17) 科学・天文講演会	28
(18) くらしき宇宙セミナー～星のソムリエ・星空案内人認定講座～	29
(19) 出前講座	30
(20) ライフパーク倉敷特別企画	31
(21) 職場体験・博物館実習等の受入れ	32
(22) 指導者講習会	33
(23) 小学校の先生のためのわくわく理科教室	34
4 広報・普及事業	35

Ⅲ 統計資料

1 年度別・月別開館日数	37
2 年度別・月別入館者数	38
3 利用者内訳	39
4 地域別学校・園団体	40
5 展示室・プラネタリウム・講座	41
6 いきいきパスポート利用者数	42
7 真備天体観測施設（たけのこ天文台）	42
8 夏休み企画展の内容と8月の入館者数	43

Ⅳ 開館からのあゆみ

1 開館からのあゆみ	45～46
------------------	-------

I センターの概要

1 設置の経緯

昭和 62（1987）年、新市発足 20 周年記念事業（昭和 42（1967）年、旧倉敷市・児島市・玉島市が合併）として、（仮称）総合社会教育センター基本構想委員会が設置され、その中で（仮称）子ども科学館の整備が検討された。平成元（1989）年には、総合的な社会教育施設として現在地に建設することが決まり、平成 3（1991）年に建設工事に着手、平成 5（1993）年 4 月にライフパーク倉敷が開館し、科学センターも開館した。

2 目的と事業内容

倉敷科学センター条例に、「科学及び科学技術に関する知識の普及、啓発を通して、創造性豊かな青少年の育成を図るため、科学センターを設置する」と定められている。

この目的を達成するため、次の 6 事業を行う。

- (1) 科学に係る資料及び装置の展示に関すること。
- (2) プラネタリウム及び全天周映画の投映に関すること。
- (3) 科学に係る図書その他の資料等の収集、配布及び提供に関すること。
- (4) 科学及び天文に係る実習、実験及び講習会等の開催に関すること。
- (5) 科学センターが収集し、又は展示する資料、装置等に係る調査研究及び他機関との協力に関すること。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、設置目的を達成するために必要な事業

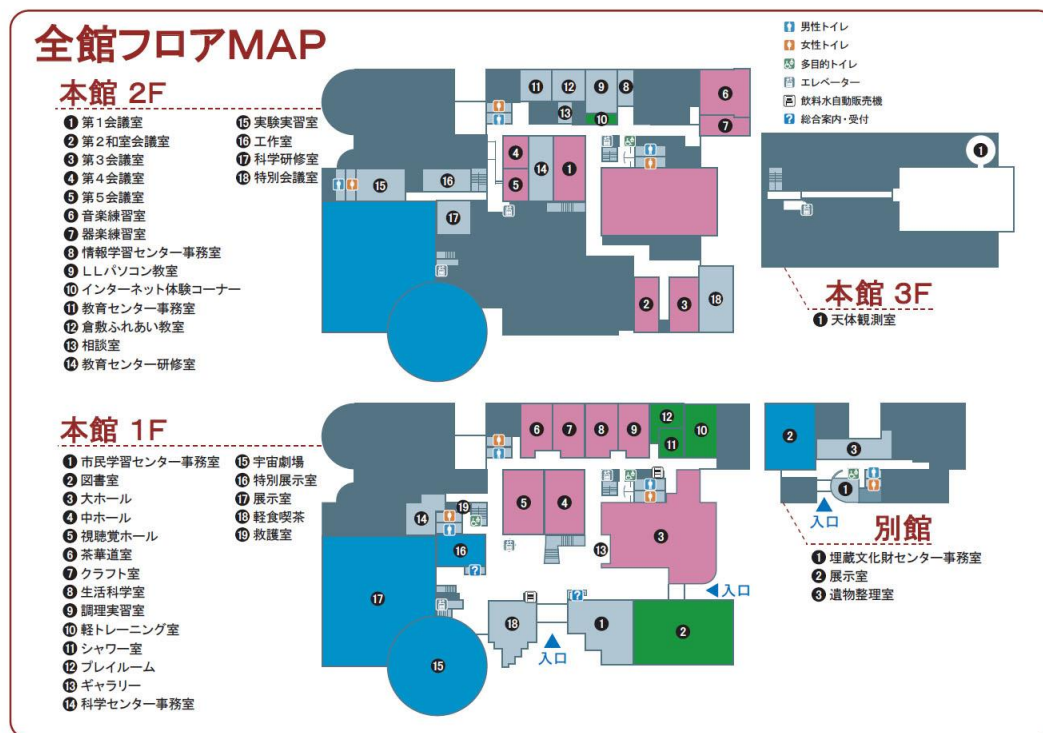
3 施設概要

- ・ 構造：鉄筋コンクリート 2 階建、一部 3 階建
- ・ 主な当初事業費：科学展示製作（662,290 千円）、プラネタリウム設備製作費（635,407 千円）
- ・ 主な財源内訳：博物館施設整備に係る国庫補助金（194,000 千円）、県補助金（64,000 千円）

部屋名	面積（㎡）	備 考
科学展示室	1,912	5 つのゾーンで構成
実験実習室	125	科学に関する実験実習等に利用
研修室	128	科学に関する研修・講座・会議に利用
工作室	116	工作実習講座等に利用
天文台	134	カセグレン式反射望遠鏡（口径 50cm）
プラネタリウム	781	ドーム径 21m（中国地方最大級） 座席数 165 席（平成 31（2019）年 3 月 27 日のリニューアル後／設置当初は 210 席）
文化財天体観測室(屋外)	25	国登録有形文化財 旧倉敷天文台スライディングルーフ観測室
事務室	104	
資料文献保管庫	46	講座資料・消耗品等の保管
資料保管庫	79	講座等の資料を保管
その他	1,979	トイレ、救護室、館長室等
合計	5,429	

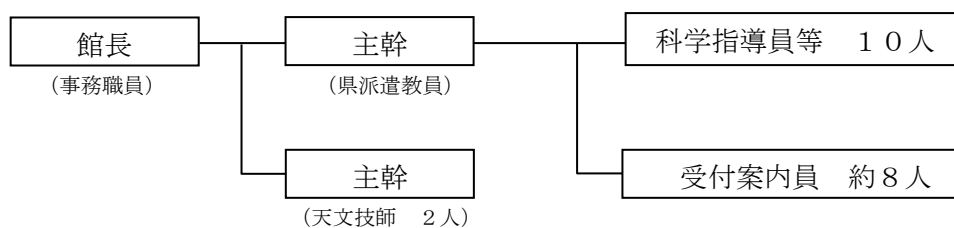
4 施設レイアウト

科学センター管理の部屋は、1階の⑭～⑰及び⑲、2階の⑮～⑰、3階の①となっている。



5 運営体制

- ・ 正規職員 4 人（事務職員の館長 1 人、天文技師 2 人、指導主幹（県派遣教員）1 人）
- ・ 非正規職員（会計年度任用職員）10 人（科学指導員 6 人、事務 2 人、再雇用 2 人）
- ・ 受付案内員は請負委託先から 8 人程度を配置



6 文化財天体観測室(旧倉敷天文台スライディンググループ観測室)

国登録有形文化財（平成 13（2001）年 8 月 28 日登録）。

日本天文遺産（令和 6（2024）年 3 月 11 日「倉敷天文台と関連遺産」として登録）。

大正 15（1926）年に原澄治氏（倉敷市名誉市民）の資力と京都帝国大学教授山本一清氏の支援により、日本最初の民間天文台として建てられたもので、長年倉敷天文台長を務め、生涯に彗星 12 個、新星 11 個を発見した世界的な天文家・本田實氏（倉敷市名誉市民）が天体観測を行った施設である。切妻式の屋根が、破風の角度に沿って東西に滑り降りるように開く構造から、スライディンググループ観測室と呼ばれる。

本田氏の生誕 100 周年となる平成 25（2013）年に、公益財団法人倉敷天文台から本市が譲り受け、ライフパーク倉敷に移築、創立当時に近い姿に復元した。

老朽化により、令和 6（2024）年 3 月から 6 月にかけて修繕工事を行った。



(1) 施設概要

所 在	福田町古新田 940 番地 （ライフパーク倉敷駐車場南）
設 置	平成 25（2013）年 8 月 18 日（倉敷天文台から移築）
開館日時	臨時開館のみ（午前 9 時～午後 9 時までの間で教育委員会が認めた日時）
入 館 料	無料
面 積	27.49 m ²
望 遠 鏡	常設していない。

(2) 一般公開

科学センターが行う天文講座等の機会に合わせて、建物内部を一般公開している。

通常の公開では、文化財としての観測室を紹介するパネル展示と、本田氏を顕彰する映像作品をテレビモニターで観覧できる。望遠鏡は常設ではないが、公開日に観測条件が整えば、観測室内に望遠鏡を搬入・設置し、スライディンググループを開放した上で、天体観測を行う場合もある。

7 真備天体観測施設（たけのこ天文台）

「たけのこ天文台」の愛称で親しまれ広く市民に天文・宇宙に触れる機会を提供するための施設。

平成 30 年 7 月豪雨災害により、施設が入っている真備図書館が被災したため、平成 30（2018）年 7 月 6 日から令和 3（2021）年 2 月 5 日まで臨時休館していた。

(1) 施設概要

所 在	真備町箭田 47 番地 1 （真備図書館屋上） Tel086-698-7527
設 置	平成 12（2000）年 7 月 13 日（旧真備町）
開館日時	臨時開館のみ（午前 9 時～午後 9 時までの間で教育委員会が認めた日時） 教育委員会が認めた日・時間（12 月 28 日～1 月 4 日を除く） 年間 26 日程度。原則午後 7 時～午後 10 時
入 館 料	無料
面 積	22.09 m ²
望 遠 鏡	カセグレン式反射望遠鏡（口径 40cm）

(2) 利用状況

項目	内容	開館日数・開催回数	利用者数
一般開館	土曜日開館	8 日	63 人
講 座	デジカメで月の写真を撮ろう他	8 回	57 人



たけのこ天文台ドーム



たけのこ天文台天文講座「七夕の星を観よう」

Ⅱ 事業の概要

1 展示室運営事業

(1) 科学展示室

科学展示室は、平成 19（2007）年度に大幅な展示更新を行った。「科学と技術—未来へのチャレンジ」をメインテーマとして、展示を 5 つのゾーンで構成し、自分で操作し体験することのできる展示物を設置した。その際に、科学する心が芽生えるハンズオン（手で触れる）を基本コンセプトとして行った。ゾーンの考え方は次のとおり。

① シンボルゾーン

現代の科学と技術を築くのに貢献した発明を古いものから順次配置して紹介している。

② 科学のプロムナード

遊びを通して楽しみながら科学を感じてもらう。

③ 宇宙・地球・環境

宇宙を身近に感じられる場所として宇宙のなかの地球を感じてもらう。

④ 倉敷の地域と産業

倉敷が世界に誇る「水島コンビナート」や「倉敷の産業」をビデオやパネルで紹介している。

⑤ 科学実験コーナー

展示では表現しきれない科学現象について、楽しい実験を通して原理を解説する。

各展示物は、以下のとおり

区分	番号	展 示 物	備 考
シンボルゾーン	1	特別展示室	夏休み企画展等開催
	2	あそびのひろば	幼児向けの遊び場
	3	アルキメデスのポンプ	スクリュウポンプ、手押しポンプ、連動機械
	4	さおばかり	てこの原理
	5	望遠鏡のしくみ	壁の文字を読む
	6	機械時計	現役の振り子時計
	7	ジェームズ・ワットの蒸気機関	ほぼ実物大模型
	8	動きや力を伝える機械	歯車・クランク等
	9	H-II ロケットエンジン(LE-7)	性能試験を行った実物
	10	ボルタの電池	実物大模型
	11	二つの温度計	アルコール温度計・ガリレオ温度計
	12	電磁誘導	赤緑ランプの点滅
	13	電磁石	ゼムクリップ釣り
	14	アーチ橋をわたろう	その場で作って渡る橋

区分	番号	展 示 物	備 考
科学の プロムナード	15	からだの働き	反射神経測定・瞳孔観察
	16	マグデブルグの半球	大気圧の実験
	17	大型周期表	118 元素表示
	18	静電気をつくろう	疑似雷、回転、反発
	19	C G スクエア～声のシャボン玉～	音声認識+タッチパネル
	20	まさつのない机	ベンハムのコマ観察
	21	10 秒をはかろう	振り子
	22	雲のリング	縦型空気砲
	23	ジャイロであそぼう	車輪のジャイロ
	24	いろいろな時間	タイムラプス映像鑑賞
	25	かがみの中のめいろ	鏡を利用した錯覚
	26	ターンテーブル	リング転がし
	27	ドップラーの音あそび	ドップラー効果
	28	さかさ耳	きこえ方
	29	音を音で消す	音の波の合成
	30	くるまを持ち上げよう	定滑車+動滑車
	31	電磁イライラ棒	電気・回路・磁石
	32	ベルヌーイの輪くぐり	ベルヌーイの定理
	33	飛ばしてかんさつ	
	34	ゾートロープ	アニメーションの原理
	35	まっくらな部屋	赤外線カメラ
	36	なんでもスピーカー	調理器具で音楽を聴く
	38	いろいろな錯視図形	立命館大学文学部教授 北岡明佳氏作成
	39	いろいろな鏡	凹面鏡、凸面鏡等
	40	この色にとって～光と色～	光による色の合成
	41	自分を立体視	3D 眼鏡による立体映像
	42	ストロボの部屋	壁への影の投映
	43	伝声管	声の伝わる時間差
宇宙・ 地球・ 環境	44	四季の星空の部屋～100 万個の星の窓～	星座じゅうちょう
	45	太陽系の仲間たち	8 惑星と主な衛星、準惑星
	46	みんなの環境メッセージ	セバンさんのメッセージ
	47	1 メートル・1 秒シアター	
	48	アマチュア天文家・本田実の活躍	年表・観測機器模型展示
	49	天文情報コーナー	指導員による手書き
	50	太陽黒点をさがそう	修理中
	51	宇宙シミュレータ	4 次元デジタル宇宙シアター
	52	地球という星	修理中

区分	番号	展 示 物	備 考
宇宙・地球・環境	53	隕石～宇宙からのおくりもの～	富田隕石等3種類展示
	54	365日が科学の日	
	55	天文クイズ	天文分野の三択問題
	56	サイエンスビデオライブラリー	宇宙、科学に関する映像
	57	宇宙情報コーナー	ロケット等について
その他	58	倉敷の産業	映像+水島号展示
	59	わたしたちのまち くらしき	倉敷市全体の航空写真
	60	科学実験コーナー	サイエンスショー開催

※37.「パソコンワンダーランド」は老朽化の為撤去。

(2) 特別展示

科学展示室の開館時間（9時～17時15分）に合わせて開催

① 夏休み企画展



塗り絵をした昆虫キャラクターによる木登りレースや、小さな昆虫カーによる昆虫カーリングができるほか、昆虫クイズにチャレンジして、昆虫たちの能力や習性を学ぶことができる、体験型展示を開催した。

また、2mの巨大カブトムシの動く模型も常時展示した。

期 間	日数	タイトル	会 場	観覧料	入場者数
7/20(土)～ 9/1(日)	38日間	昆虫キングダム ～最強昆虫を決めよう!～	科学センター 特別展示室	大人 410 円 小人 100 円	26,661 人

※観覧料は展示室観覧料に含む

② 写真展

期 間	日数	タイトル	会 場	観覧料
4/2(火)～ 4/14(日)	(2/25 開始) 全 43 日間	日本星景写真協会 第5回全国巡回写真展 「星の風景」第2部	科学センター 特別展示室	無料

期 間	日数	タイトル	会 場	観覧料
1/25(土)～ 3/30(日)	(4/20 終了) 全 56 日間	小林幹也 星景写真展 「星空のある風景」	科学センター 特別展示室	無料

③ 絵画展等

期 間	日数	タイトル	会 場	観覧料
4/1(土)～ 11/10(日)	(R5.8/3 開始) 全 393 日間	プラネタリウム 100 周年記念事業 【ミニ企画展】GSS-HELIOS ～30 年前のプラネタリウムを振り返る～	プラネタリウム ホワイエ	無料

期 間	日数	タイトル	会 場	観覧料
11/16(土)～ 12/1(日)	14 日間	全国巡回展示 小惑星「イトカワ」「リュウグウ」 粒子サンプル特別展示 in 倉敷	プラネタリウム ホワイエ	無料

期 間	日数	タイトル	賞内訳(※1)	会 場	観覧料
12/7(土)～ R7.1/13(月)	26 日間	宇宙の日絵画作文展 (小・中学生の絵画作文展)	最優秀賞 4 点 優秀賞 7 点 佳 作 8 点	科学センター 特別展示室	無料

(※1)受賞数は絵画・作文コンクールの合計

(3) 観覧料

区 分／金 額		個 人	団体（20 人以上）
科学展示室	おとな（一般）	410 円	330 円
	こども（小・中学生、高校生）	100 円	80 円

※ 観覧料が減免となる主な場合

- ・市内の小学校、中学校またはこれに準ずる学校の児童または生徒が学習活動のため、教職員に引率されて観覧するとき
- ・65 歳以上の者または心身障がい者（心身障がい者 1 人につき介助者 1 人を含む）
- ・市内の小・中学生が「いきいきパスポート」を利用するとき
- ・高梁川流域 7 市 3 町（新見市・高梁市・総社市・早島町・倉敷市・矢掛町・井原市・浅口市・里庄町・笠岡市）の小学生が「高梁川流域パスポート」を利用するとき

(参考) 観覧料の改定状況

期 日	改正等の状況	一般		高校生		小・中学生	
		個人	団体	個人	団体	個人	団体
H5(1993).4.1	開館当初（消費税率 3%）	400 円	320 円	400 円	320 円	100 円	80 円
H9(1997).4.1	消費税率改正 3%→5%	↓	↓	↓	↓	↓	↓
H11(1999).4.1	高校生の区分変更 一般→小・中学生と同じ	↓	↓	100 円	80 円	↓	↓
H26(2014).4.1	消費税率改正 5%→8%	410 円	330 円	↓	↓	↓	↓
R1(2019).10.1	消費税率改正 8%→10%	↓	↓	↓	↓	↓	↓

2 プラネタリウム運営事業

平成 30（2018）年 9 月 3 日～平成 31（2019）年 3 月 26 日にかけてリニューアル工事を行ったプラネタリウムは、ドーム直径 21m、定員 165 人の規模であり、レギュラー番組としてプラネタリウムと全天周映画を投映するほか、平日は、学校園等の利用団体からの要望に応じて学習投映を行っている。また、特別イベントとしてプラネタリウムコンサートや科学講演会などのイベントを実施することもある。

(1) 一般投映

一般投映は、天文現象の解説や天文学の普及を主な目的として行っている。

約 50 分間の上映時間の前半は、「今夜の星空解説」を天文の専門家による生解説で行っている。後半は、定期的に更新される様々な「星や宇宙の話題」をテーマとしたショープログラム番組を上映している。後半の番組のテーマは、概ね 4 か月毎に入れ替えるため、年間を通してほぼ 3 本の新番組を制作している。

(2) 全天周映画

全天周映画は、21m のプラネタリウムドームスクリーンいっぱいに大迫力の映像を展開する巨大映画の投映である。上映時間は約 45 分で、小・中学生を中心に大人も子どもも楽しめる作品を上映している。番組は年間で 3 本の新番組を選定しており、原則として、それぞれ 7 月、11 月、3 月から 1 年間上映している。

(3) 学習投映

学習投映は、学校園等の利用団体からの要望に応じて、平日に約 50 分間の番組を上映している。団体を構成する幼児・児童・生徒の年齢に応じて、宇宙への興味・関心・理解を高めていくことができるような工夫を凝らした内容となっている。

(4) 投映スケジュール

土・日・祝 夏・冬・春休み	10:30	11:40	12:50	14:00	15:10	16:20
	全天周映画	一般投映	全天周映画	一般投映	全天周映画	一般投映
火～金曜	学習投映（10：00／11：00／13：10）				15:10	16:20
					全天周映画	一般投映

※このスケジュールは、令和 5 年 3 月 25 日からのもので、それ以前はコロナ禍のため回数を減らしていた。

(5) 上映番組

① 全天周映画

対 象	上映番組	上映期間
一 般	ダイナソー・サバイバル 恐竜たちの大進化	R5.7/11～R6.7/7
一 般	ネイチャーリウム 星の旅 世界編	R5.11/11～R6.11/4
ファミリー	しまじろう まほうのしまのだいぼうけん	R6.3/9～R7.3/9
一 般	新オーロラを見た恐竜たち 虹色に輝くアラスカの大地	R6.7/9～上映中
一 般	MMX 火星衛星探査計画	R6.11/6～上映中
ファミリー	ドラえもん 宇宙の模型	R7.3/11～上映中

② 一般投映

対 象	生 解 説	上映番組	上映期間
一 般	今夜の星空	星の一生をめぐる 星たちがつむぐ物語	R5.7/14～R6.6/9
一 般	今夜の星空	プラネタリウム 100 周年 地上に星を求めた歴史といま	R5.11/10～R6.11/4
ファミリー	今夜の星空	プラネタリウムでチコちゃんに叱られる！2	R6.3/8～R6.11/4 R6.12/25～R7.3/7
一 般	今夜の星空	いのちを探して スペースクルーザーで行く金星・木星	R6.7/12～上映中
一 般	今夜の星空	日本の空に舞うオーロラ 太陽が教えてくれること	R6.11/9～上映中
ファミリー	今夜の星空	宇宙の話をしよう～ロケット開発編～	R7.3/14～上映中
ファミリー	今夜の星空	たなばたと夏の星空	R6.6/15～7/7
ファミリー	今夜の星空	こまねこのクリスマス 迷子になったプレゼント	R6.11/24～12/22

③ 特別投映

対 象	上映番組	上映期間
一 般	星へものをたずねて～倉敷天文台・本田實物語～	R6.11/9,10,16,17
ファミリー	特別投映「こどもむけ★ぷらねたりうむ」	R6.11/23, R7.3/20
ファミリー	3.11 プラネタリウム特別投映「星よりも、遠くへ」(*1)	R7.3/8,9

④ 学習投映 (*2)

対 象	生解説	上映番組	上映時間
幼 児	星に親しむお話	まほうつかいリリィ	30 分～35 分程度
		キラキラ森のなかまたち	
		たなばたと夏の星空※一般投映と同作品	
小学低学年	月と星、星座のお話	イナズマデリバリー バイザウェイの宇宙旅行?!	50 分
小学高学年	月と星、星座の動き	※基本的に生解説のみ	50 分

(*1) P26 参照

(*2) 平日（火～金曜）の学習投映は、原則 10:00、11:00、13:10 からの 3 枠で予約受付

(6) 上映実績

上映番組		回 数
全天周映画		601 回
プラネタリウム	一般投映	592 回
	学習投映	149 回
合 計		1,342 回

(7) 観覧料

区 分／金 額		個 人	団体 (20 人以上)
プラネタリウム	おとな (一般)	500 円	400 円
	高校生	350 円	280 円
	こども (小・中学生)	250 円	200 円
全天周映画	おとな (一般)	500 円	400 円
	高校生	350 円	280 円
	こども (小・中学生)	250 円	200 円

※ 観覧料が減免となる主な場合

- ・市内の小学校、中学校またはこれに準ずる学校の児童または生徒が学習活動のため、教職員に引率されて観覧するとき
- ・65 歳以上の者または心身障がい者（心身障がい者 1 人につき介助者 1 人を含む）
- ・市内の小・中学生が「いきいきパスポート」を利用するとき
- ・高梁川流域 7 市 3 町（新見市・高梁市・総社市・早島町・倉敷市・矢掛町・井原市・浅口市・里庄町・笠岡市）の小学生が「高梁川流域パスポート」を利用するとき

(参考) 観覧料の改定状況

① 平成 11 (1999) 年 4 月 1 日

※ 上映形態の変更 (一般投映と全天周映画の分離投映) に伴う料金改定

分離投映の割高感を緩和するため、従前どおりに近い形態で一般投映と全天周映画の両方を観覧する場合のセット割引の区分を追加

※ 改定に合わせて高校生の料金区分を一般から小・中学生と同じ区分に変更

[改定前：開館当初～]

区 分／金 額		個 人	団体 (20 人以上)
プラネタリウム 〔※全天周映画を含む 70 分番組〕	おとな (一般・高校生)	500 円	400 円
	こども (小・中学生)	250 円	200 円

[改定後：分離投映後～]

区 分／金 額		個 人	団体 (20 人以上)
プラネタリウム	おとな (一般)	400 円	320 円
	こども (小・中学生、高校生)	200 円	160 円
全天周映画	おとな (一般)	400 円	320 円
	こども (小・中学生、高校生)	200 円	160 円
プラネタリウム ＋全天周映画	おとな (一般)	600 円	480 円
	こども (小・中学生、高校生)	300 円	240 円

② 平成 26 (2014) 年 4 月 1 日

※ 消費税率改正 (5%→8%) に伴う料金改定

[改定後：消費税率 8%]

区 分／金 額		個 人	団体 (20 人以上)
プラネタリウム	おとな (一般)	410 円	330 円
	こども (小・中学生、高校生)	210 円	170 円
全天周映画	おとな (一般)	410 円	330 円
	こども (小・中学生、高校生)	210 円	170 円
プラネタリウム ＋全天周映画	おとな (一般)	620 円	490 円
	こども (小・中学生、高校生)	310 円	250 円

③ 平成 31 (2019) 年 3 月 27 日

※ プラネタリウムのリニューアルオープンに伴う料金改定

一般投映と全天周映画のセット割引を廃止

※ 改定に合わせて高校生の料金区分を新設

[改定後]

(現行どおり)

(8) 観覧者数の実績（過去 8 か年度）

過年 8 か年のプラネタリウム入場者数の実績は、下表のとおり。

（単位：人）

区 分	プ ラ ネ タ リ ウ ム		全天周映画	合 計
	学習投映	一般投映		
令和 6（2024）年度	11,248	23,214	25,673	60,135
令和 5（2023）年度	9,873	23,486	22,222	55,581
令和 4（2022）年度	10,195	20,604	16,328	47,127
令和 3（2021）年度	7,162	10,637	7,284	25,083
令和 2（2020）年度	5,748	9,036	11,136	25,920
令和元（2019）年度	10,450	29,746	26,061	66,257
平成 30（2018）年度	2,473	13,723	19,332	35,528
平成 29（2017）年度	11,279	19,652	31,652	62,583

(9) 観覧料の実績（過去 8 か年度）

過年 8 か年のプラネタリウム入場料の実績は、下表のとおり。

（単位：円）

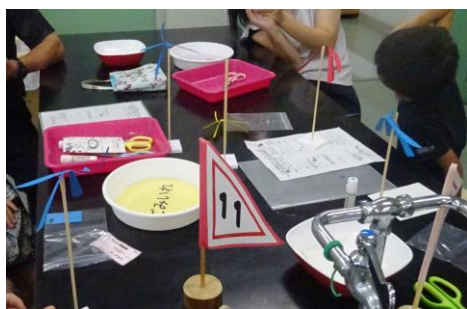
区 分	合 計
令和 6（2024）年度	13,404,810
令和 5（2023）年度	12,720,600
令和 4（2022）年度	10,766,930
令和 3（2021）年度	5,440,630
令和 2（2020）年度	6,194,120
令和元（2019）年度	15,242,560
平成 30（2018）年度	6,518,550
平成 29（2017）年度	10,980,960

3 講座・イベント・教育普及事業

各種講座は、科学実験や工作、プラネタリウムや天体観測を通じて、科学の楽しさ、面白さを実際に体験しながら、身近な生活の中のできごとから宇宙にいたる壮大なスケールの話まで、幅広い分野の科学について理解や関心を深めることを目的に開催している。

今年度より、参加人数は申込者のみだけでなく保護者なども入れた、参加者全員で集計している。

(1) わくわく工作室



子どもを対象とした自由参加・無料のイベントで、身近な材料や道具を使って簡単に科学工作ができる。

令和2年度より、整理券を配布している。

毎月第2土曜日 13:00～15:00※ 実験実習室（整理券配布・無料）

実施日	わくわく工作室	参加人数
4月13日	かざぐるま（色紙）	77人
5月11日	マジックハンド（牛乳パック）	79人
6月8日	かんたんのぼり人形（洗濯ばさみ）	87人
7月13日	動く昆虫標本（磁石）	134人
8月3日	夏休みわくわく工作スペシャル（吹き出しカメレオン）	268人
9月14日	バランストンボ（厚紙）	128人
10月12日	恐竜ストラップ（おがくず粘土）	132人
11月9日	「青少年のための科学の祭典」のためお休み	
12月14日	マジックカード（牛乳パック）	59人
1月11日	むくむくびっくりコップ（紙コップ）	67人
2月8日	坂道コロコロ（厚紙）	127人
3月8日	走れ紙皿（紙皿）	86人
合計	全11講座	1,244人

※1日につき4回講座を行った。

(2) わくわく実験室



子どもを対象とした自由参加・無料のイベントで、身近な材料や道具を使って簡単に科学実験が体験できる企画作りをしている。

令和2年度より、整理券を配布している。

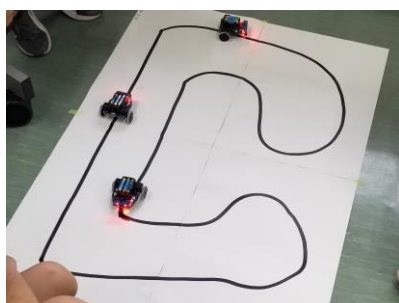
毎月第4土曜日 13:00～15:00^{※1} 実験実習室（整理券配布・無料）

実施日	わくわく実験室	参加人数
4月27日	紙コップロケットを飛ばそう ①空気のおもしろ実験②紙コップロケットを作ろう	115人
5月25日	ビー玉コースターで的当て ①まさつの実験 ②ビー玉コースター作り	111人
6月22日	ドライアイスでクールに実験 ①シャボン玉作り ②ロケット飛ばし	111人
7月27日	ダンゴムシの迷路 ①身近な小さな動物の観察 ②ダンゴムシの迷路	150人
8月3日	夏休みわくわく実験スペシャル （ふうせんスライムを作ろう）	268人
8月24日	水の力でアサガオの花をえがこう ①色ペンの色を分ける ②アサガオの花をえがく	142人
9月28日	シャボン玉まつり ①大きなのを作ろう ②たくさん作ろう	219人
10月26日	ふりこで遊ぼう ①ふりこおもしろ実験 ②おきあがりこぼし作り	60人
11月23日	キラキラ小玉を作ろう ①2つをまぜると ②きらきら小玉づくり	124人
^{※2} 12月21日	静電気パワーで大実験 ①静電気のひみつ ②静電気くらげをあげよう	68人
1月25日	ストロー吹き矢で的当て ①空気のひみつ ②ストロー吹き矢作り	80人
2月22日	空気ほうで遊ぼう ①空気ほうを打ってみよう②ミニ空気ほう作り	135人
3月22日	エアボールロケットを飛ばそう ①空気の科学 ②エアボールロケット作り	92人
合計	全 13 講座	1,675人

※¹1日につき4回講座を行った。

※²12月は、第3週である21日に行った。

(3) 科学工作教室



小・中学生を対象とし、工作の難易度により、対象学年を分けて実施している。生活科や理科学習で習ったことを使って、科学的な仕組みを取り入れた工作を行っている。

実施日時	講座名	対象	講師	所属	定員	受講料	参加人数
5月19日(日) 10:00~12:00	舞い上がれ カ タパルト飛行機	小学生	吉岡 勉 西村 誠	科学センター	24人	100円	42人
6月30日(日) 13:00~15:30	ライントレーサ ーを作ろう	小5 ~中3	内藤 憲二 日吉 康幸 藤谷 明良 白神 通史	岡山大学 東中学校 元科学センター職員 元中学校校長	12人	3200円	21人
7月14日(日) A 9:30-11:30 B 13:00-15:00	キラキラ光る 立体星座箱	小1 ~小3 と保護者	光畑 俊輝 中西 亮太	倉敷東小学校 岡山大学附属小学校	各回 24人	300円	136人
7月28日(日) A 9:30-11:30 B 13:00-15:00	モーターで ブルぶるロデオ	小4 ~小6	三原 進平 堺和 優一	老松小学校 琴浦西小学校	各回 24人	400円	70人
11月24日(日) 9:30~11:30	空飛ぶ工作 大集合	5歳 ~7歳 と保護者	西村 誠	科学センター	18組	200円	38人
合計	全5講座7回						307人

(4) 親子科学教室



子どもだけでは少し難しい実験に親子で挑戦したり、工作をしたりする、親子でふれあいながら科学実験や科学工作を行う講座。

実施日時	講座名	対象	講師	所属	定員	受講料	参加人数
4月21日(日) 10:00-12:00	葉脈標本で 自然クラフト	小4～中3 と保護者	藤原 学	科学センター	12組	400円	26人
7月21日(日) A 9:30-11:30 B 13:00-15:00	めざせ！ 科学研究の達人	小中学生 と保護者	西村 誠	科学センター	各回 12組	200円	35人
12月1日(日) 13:00-15:00	日本の伝統和風作 りに挑戦！（連風）	小中学生 と保護者	向井 彰	岡山県子ども会 連合会常任理事	12組	500円	20人
1月12日(日) 13:00-16:00	ラジオ作りに挑戦！	小4～小6 と保護者		(一社)日本アマ チュア無線連盟 岡山支部	12組	1300円	25人
3月9日(日) 10:00-12:00	音を楽しむ ドレミファ科学	小1～小3 と保護者	西村 誠	科学センター	12組	200円	32人
合計	全5講座6回						138人

(5) 科学実験教室



理科の学習で習ったことや身近な科学現象を、実験を通して理解を深めることができる。小・中学生を対象とした科学講座。

実施日時	講座名	対象	講師	所属	定員	受講料	参加人数
9月29日(日) 10:00-12:00	寒剤バンザイ アイスのひみつ	小3 ～小6	青野 智氣	二万小学校	18人	400円	24人
10月27日(日) 10:00-12:00	ドキドキびっくり 化学実験	小3 ～小6	吉岡 勉 西村 誠	科学センター	18人	200円	38人
12月8日(日) 10:00-12:00	ときめく琥珀&鉱物、 大発見！	小学生	的山 直幸	第三福田小学校	12人	300円	23人
2月16日(日) 10:00-12:00	さよなら アルコールランプ	小学生	吉岡 真 西村 誠	長尾小学校 科学センター	18人	300円	43人
合計	全4講座						128人

(6) 科学チャレンジ教室



学校で習ったことを応用して、各分野の専門の方を講師に招き、教科書の内容だけではできない実験や科学現象について体験する、高学年向けの講座。

実施日時	講座名	対象	講師	所属	定員	受講料	参加人数
6月2日(日) 10:00~12:00	メダカの飼い方・増やし方	小3 ~中3		放送大学わくわくクラブ	24人	無料	50人
6月9日(日) 9:30~11:30	見え方のふしぎ？ 光のおもしろ実験	小3 ~中3	稲田 修一	連島南小学校	24人	400円	36人
9月15日(日) 10:00~12:00	エネルギーってなに？	小3 ~中3		放送大学わくわくクラブ	24人	無料	31人
1月26日(日) 9:30~11:30	石を調べて大地の歴史を探ろう	小3 ~中3	小野田 誠	岡山市立京山中学校	18人	400円	24人
合計	全4講座4回						141人

(7) おとなが学ぶサイエンス講座



身近な材料を使った科学実験や科学工作などの活動を通して、おとなが家庭で子どもと関わるができるようにする、おとなを対象とした講座。

実施日時	講座名	対象	講師	所属	定員	受講料	参加人数
6月20日(木) 9:30~11:30	家庭で楽しむ 科学クッキング	18歳 以上	西村 誠	科学センター	12人	400円	8人
12月19日(木) 9:30~11:30	雪が舞う クリスマスボトル	18歳 以上	西村 誠	科学センター	18人	500円	18人
1月16日(木) 9:30~11:30	日本茶の科学	18歳 以上	高杉紀子	日本茶 インストラクター	24人	600円	24人
2月27日(木) 9:30~11:30	はじめてみよう ガラス細工	18歳 以上	杉山 誠 西村 誠	中国職業能力開発大学校 科学センター	12人	500円	10人
計	全4講座						60人

(8) 親子天文教室



市販の天体望遠鏡組立キットを使用し、親子で望遠鏡のしくみなどについて学ぶ講座を、平成 20（2008）年度より開催している。

実施日時	講座名	対象	講師	所属	定員	受講料	参加人数
9 月 1 日（日） A 10:00～11:30 B 13:30～15:00	望遠鏡をつくろう A 日程/B 日程	小 3～6 と保護者	三島和久 石井元巳 ボランティア	科学センター 星のネットワーク	各 12 組	1800 円	49 人
合計	1 講座全 2 回						49 人

(9) プラネタリウムコンサート



七夕やクリスマスの季節に、ドームに広がる美しい星の輝きのもと、星にまつわるお話と地元演奏家による生演奏を楽しむコンサート。

実施日時	タイトル	演奏者	対象	観覧料	参加人数
7 月 6 日(土) 19:30～20:30	たなばた特集	朝田 恵利(ピアニスト)	小学生以上	大 人 500 円 高校生 350 円 小中学生 250 円	140 人
12 月 21 日(土) 19:30～20:30	クリスマス特集	松居果連(トランペット) 才野紀香(コントラバス)	小学生以上	大 人 500 円 高校生 350 円 小中学生 250 円	124 人
合計	年 2 回				264 人

(10) プラネタリウム特別投映



外部ゲストによる特別投映や不定期のプラネタリウム特別枠。
今年度は、星兄（ほしにい）こと田端英樹さんのプラネタリウムショーと、令和4年度から開始したこどもむけプラネタリウム（乳幼児や小学校低学年の児童を対象とした、やさしく短めのプログラム）を開催した。

実施日時	タイトル	解説者	所属	対象	観覧料	観覧者数
5月25日(土) A 17:45~18:45 B 19:30~20:30	爆笑!星兄プラネタリウム ショー in 倉敷 A 日程/B 日程	星 兄 (田端 英樹)	(株)阿智☆ 昼神観光局	小学生 以上	大 人 500 円 高校生 350 円 小中学生 250 円	173 人
11月23日(土) ※勤労感謝の日 11:40~12:30	こどもむけ★ ふらねたりうむ(*1)	亀井美那	倉敷科学セ ンター	幼児・ 小学校 低学年 向け	大 人 500 円 高校生 350 円 小中学生 250 円 幼児/高齢者無料	120 人
3月20日(木) ※春分の日 11:40~12:30						151 人

(*1)通常のプラネタリウム番組枠（11:40~12:30）で投映。参加人数及び観覧料はプラネタリウム事業実績に計上

(11) 3. 1 1 プラネタリウム特別投映

東日本大震災の経験を通して仙台市天文台が、震災を伝えていく取り組みとして制作した特別番組。現在は全国 40 館近くのプラネタリウムで上映されている。「星よりも、遠くへ」は、2018 年まで倉敷科学センターで上映した「星空とともに」の第二章と位置づけられた作品。

実施日	タイトル	対象	観覧料	観覧者数
3月8日(土)	仙台市天文台制作（2018 年）	一般	無料	56 人
3月9日(日)	「星よりも、遠くへ」(*2)	(小3以下は保護者同伴)		33 人

(*2)通常のプラネタリウム番組枠（11:40~12:30）で投映。参加人数はプラネタリウム事業実績に計上

(12) アストロクラブ

中学生および高校生を対象とした年会員制の講座で、年4回開催。望遠鏡を使った天体観測やワーキングを通して天文学の基礎を学ぶ。

今年度は応募者がいなかったため、開催しなかった。

(13) 天体観望会



各季節の星々に触れ、望遠鏡での観望を体験してもらうため、天体観望会を月 1 回程度の頻度で開催している。天体観測室の 50 センチ反射望遠鏡のほか、屋上広場にも中小望遠鏡を展開する。また、観望する天体についてより理解を深められるよう、事前に天文技師がプラネタリウムで解説を行っている。参加費は無料。

実施日	実施時間	講座名（観望対象）	会場	参加人数
4 月 13 日（土）	19：00～自由解散	月・春の天体	ライフパーク倉敷屋上天体観測室	64 人
5 月 11 日（土）		月・春の天体		60 人
6 月 15 日（土）		月・夏の天体		91 人
7 月 27 日（土）		夏の天体		131 人
8 月 10 日（土）		月・たなばたの星		203 人
8 月 24 日（土）		夏の天体		104 人
9 月 14 日（土）		月・土星		116 人
10 月 12 日（土）		月・土星		165 人
11 月 2 日（土）		土星・秋の天体		40 人
12 月 7 日（土）		月・木星・土星		143 人
1 月 11 日（土）		月・火星・木星		130 人
2 月 8 日（土）		月・火星・木星		73 人
3 月 8 日（土）		月・火星・木星		103 人
合計	全 13 回			1,423 人

(14) 特別天体観望会



突発的な天文現象に対応するため、不定期で特別天体観望会を開催している。また、科学センター以外でも、出張観望会を行っている。基本的に参加費は無料。

実施日	実施時間	講座名	会場	講師	参加人数
9月8日(日)	20:00～自由解散	ファジアーノ岡山「土星」	岡山県総合グラウンド	三島 和久 ボランティア	100人
合計	全1回				100人

(15) 天文台公開



天体観測室の50センチ反射望遠鏡をさらに活用するため、天体観望会を補完する目的で、平成20(2008)年度から開始している。参加費は無料。会場は、観望対象の天体や実施時期の気候によって、屋上天文台と旧倉敷天文台スライディンググループ観測室のいずれかを使い分けている。

実施日	実施時間	講座名	会場	参加人数
4月27日(土)	20:00～20:50	春の天体	屋上天文台	3人
5月4日(土) ※みどりの日	12:15～13:00	昼間の太陽観測		105人
5月5日(日) ※こどもの日				95人
6月1日(土)	20:00～20:50	夏の天体		11人
8月17日(日)	13:15～14:00	昼間の太陽観測		117人
9月23日(月) ※秋分の日振替	13:15～14:00	昼間の太陽観測	旧倉敷天文台スライディンググループ観測室	35人
9月28日(土)	20:00～20:50	土星	屋上天文台	20人
10月20日(日)	13:15～14:00	昼間の太陽観測	旧倉敷天文台スライディンググループ観測室	5人
11月9日(土)			屋上天文台	147人
11月10日(日)				104人
11月16日(土)	19:00～20:50	月・木星		中止
2月2日(日)	13:15～14:00	昼間の太陽観測		中止
2月22日(土)	19:00～20:50	火星・木星		8人
3月22日(土)	20:00～20:50	火星・木星		11人
合計	全12回			661人

(16) 移動プラネタリウム



日程や費用など様々な事情で当施設の利用が難しい学校に対して、プラネタリウムの星空を体験してもらうため、エアドーム（直径 7m）および小型のプラネタリウム投映機を持ち込んで移動プラネタリウムを毎年冬季に開催していた。

令和 2 年度から感染症拡大防止のため中止しており、今年度から再開。

実施日	実施校時	実施校・学年	講師	参加人数
1 月 16 日(木)	2・3・4 校時	緑丘小学校 4・5・6 年	天文技師	131 人
1 月 17 日(金)	3・4 校時	連島北小学校 全学年	天文技師	92 人
1 月 21 日(火)	3・4 校時	第四福田小学校 4 年	天文技師	102 人
1 月 22 日(水)	3・4 校時	郷内小学校 4 年	天文技師	78 人
合計		4 校 全 9 回		403 人

(17) 科学・天文講演会



第一線で活躍中の研究者に最新の科学の話題について紹介してもらう、一般向けの講演会を年数回程度開催している。受講料は無料。

実施日時	タイトル	講師	所属	対象	受講料	観覧者数
5 月 18 日(土) 13:30-16:30	太陽系小天体搜索アプリ「COIAS」操作体験講座	浦川 聖 太 郎	日本スペースガード協会	小学5年生以上	無料	5 人
5 月 18 日(土) 17:30-20:30	太陽系小天体搜索アプリ「COIAS」操作体験講座	浦川 聖 太 郎	日本スペースガード協会	ボランティア	無料	12 人
10 月 5 日(土) 19:00-20:30	平松正 顕 天文 講 演 会 電 波 望 遠 鏡 で 探 る 「 激 し い 宇 宙 」 と 「 冷 た い 宇 宙 」	平 松 正 顕	国立天文台 天文情報センター 講師/台長特別補佐	小学生以上	無料	101 人
10 月 19 日(土) 14:00-15:30	「プラネタリウム 100 周年」×「すばる望遠鏡 25 周年」記念全国一斉オンライン講演会	宮 崎 聡	国立天文台ハワイ観測所 所長	小学校高学年以上	無料	37 人
11 月 24 日(日) 14:00-16:00	ハワイー倉敷オンライン講演会 すばる望遠鏡を身近に感じよう	白 田 一 佐 藤 功 美 子	国立天文台ハワイ観測所 広報普及専門員	小学校高学年以上	無料	39 人
2 月 15 日(土) 19:00-20:30	「はやぶさ 2」のこれまでの成果と今後の挑戦	吉 川 真	JAXA 宇宙科学研究所 准教授 はやぶさ 2 ミッションマネージャー	小学生以上	無料	147 人

(18) くらしき宇宙セミナー～星のソムリエ®・星空案内人認定講座～



本講座は、天文学を学ぶだけではなく、学んだ知識を人に語り感動を共有できるようになることを目的とした、“星空案内人認定制度”に準じた内容で、連続講座の形式で開催している。所定の要件を満たすと「星空案内人（準ソムリエ）」が認定される。

実施時間 18：30～20：30

実施日	講座名	対象	参加人数
4月12日（金）	第1回「さあ、はじめよう」	高校生 以上	52人
4月19日（金）	第2回「宇宙はどんな世界」		49人
5月10日（金）	第3回「望遠鏡のしくみ」		49人
5月17日（金）	第4回「望遠鏡を使ってみよう」		51人
5月24日（金）	第5回「星空の文化に親しむ」		46人
5月31日（金）	第6回「星座を見つけよう」		43人
6月7日（金）	第7回「さまざまな天文現象」		41人
6月21日（金）	第8回「星空案内の実際」		49人
合計	全8回		380人

(19) 出前講座



科学センター職員が小中学校や幼稚園などに出向き、科学の魅力を楽しく伝える講座。

サイエンスショーや身近な素材を使用した科学実験や科学工作を行う。

実施日	実施場所	内 容	参加人数
6 月 19 日(水)	上成小学校放課後倶楽部	サイエンスショー	65 人
6 月 27 日(木)	かがやき認定こども園	サイエンスショー	47 人
6 月 28 日(金)	三宝認定こども園	サイエンスショー	43 人
7 月 9 日(火)	玉島保育園	サイエンスショー	35 人
7 月 11 日(木)	まきびの里こども園	サイエンスショー	105 人
9 月 13 日(金)	元気ほいだっこクラブ	サイエンスショー	39 人
10 月 2 日(水)	味野小学校 2 年生	科学運動会	70 人
10 月 8 日(火)	連島西浦小学校 科学クラブ	サイエンスショー	18 人
10 月 26 日(土)	総社サイエンスフェスティバル	サイエンスショー	335 人
10 月 30 日(水)	琴浦南小学校 4 年生	科学運動会	72 人
11 月 30 日(土)	倉敷児童館	サイエンスショー	13 人
1 月 22 日(水)	唐琴公民館	サイエンスショー	12 人
2 月 6 日(木)	かがやき認定こども園	サイエンスショー	42 人
2 月 7 日(金)	中庄小学校科学クラブ	サイエンスショー	39 人
2 月 13 日(木)	まきび支援学校	サイエンスショー	74 人
2 月 18 日(火)	長尾小学校科学クラブ	サイエンスショー	23 人
2 月 19 日(水)	郷内幼稚園	サイエンスショー	30 人
2 月 20 日(木)	川辺小学校科学クラブ	サイエンスショー	15 人
2 月 21 日(金)	三宝認定こども園	サイエンスショー	44 人
3 月 11 日(火)	郷内おやこクラブ	サイエンスショー	30 人
3 月 15 日(土)	水島児童館	サイエンスショー	15 人
合 計	全 21 回		1,166 人

(20) ライフパーク倉敷特別企画



ライフパーク倉敷を会場とする大規模イベント。

「こどもの日スペシャル」では、特別な実験ショーや鉄道写真／模型展、誰でも参加できる工作教室を開催。

「ライフパークの集い」と「倉敷市こどもまつり」では、科学センターがいくつかのブースを担当。

また、「科学の祭典」は、教師や学生ボランティア、企業が工夫を凝らして開発した不思議な実験や楽しい工作ブースが勢ぞ

ろいする県下最大級の科学教育イベントである。

実施日	開催時間	イベント	対象	参加人数
5月4日(土) ※みどりの日	10:00～15:30	こどもの日スペシャル 「実験ライブショー」「かみわざ紙ブーメラン」「鉄道模型展・写真展」	一般	1,301 人
5月5日(日) ※こどもの日	10:00～15:30			1,179 人
5月6日(月) ※振替休日	10:00～15:30	こどもの日スペシャル 「実験ライブショー」「かみわざ紙ブーメラン」	一般	641 人
8月17日(土)	9:30～14:30	ライフパークの集い 「実験ショー」「空気砲にチャレンジ！」	一般	1,042 人
11月9日(土) (A 日程)	11:30～16:00	青少年のための科学の祭典 2024 倉敷大会	一般	2,023 人
11月10日(日) (B 日程)	9:30～15:00			2,724 人
2月2日(日)	9:30～12:00 13:00～15:00	倉敷市こどもまつり 「静電気で遊ぼう」「わりばしバスケット」	一般	456 人
合計	全 4 企画			9,366 人

※参加人数は、各行事の合計とした。

(21) 職場体験・博物館実習等の受入れ



中学生の職場体験、高校生のインターンシップ、大学生の博物館実習・ボランティア体験、現職教職員の研修など、さまざまな機関からの要望に積極的に対応している。科学館業務について実践してもらうことを基本に実施している。

教育機関との連携	対象	内容	実施日	参加人数
多津美中学校 チャレンジワーク	中学生	職場体験	5/21(火)～5/23(木)	4 人
(一社)ぶれジョブ(福田南中学校)	中学生	職場体験	7/10(水)～12/25(水) ※週一回	1 人
倉敷商業高等学校インターンシップ	高校生	実習	8/2(金)～8/3(土)	9 人
倉敷芸術科学大学 8 名／岡山大学 4 名／ 岡山理科大学 1 名／東京海洋大学 1 名	大学生	博物館実習	8/16(金)～8/22(木)	14 人
倉敷南中学校チャレンジワーク	中学生	職場体験	9/3(火)～9/5(木)	5 人
連島中学校チャレンジワーク	中学生	職場体験	10/22(火)～10/24(木)	3 人
大安寺中学校チャレンジワーク	中学生	職場体験	10/29(火)～10/31(木)	5 人
連島南中学校チャレンジワーク	中学生	職場体験	11/13(水)～11/15(金)	5 人
東陽中学校チャレンジワーク	中学生	職場体験	11/19(火)～11/20(水)	5 人
福田中学校チャレンジワーク	中学生	職場体験	11/19(火)～11/21(木)	3 人
合 計				54 人

(22) 指導者講習会



科学センター職員が、わくわく実験や、わくわく工作の講座で行っている工作や実験の方法を市内の児童クラブや幼稚園・保育園担当者などに伝達する講習会。

実施日時	講座名	対 象	材料費	参加人数
6月11日(火) 13:30～16:30	科学センタープログラム体験	保育幼稚園課	無料	20人
7月5日(金) 10:00～12:00	身近な素材でアイデア工作・実験	児童クラブ担当者	300円	46人
7月5日(金) 14:00～16:30	身近な素材でアイデア工作・実験	幼稚園・保育園担当者	300円	32人
1月11日(土) 10:00～15:00	ジュニアリーダー育成研修会①	倉敷市子ども会連合会 小中高生	無料	13人
2月22日(土) 10:00～12:00	ジュニアリーダー育成研修会②	倉敷市子ども会連合会 小中高生	無料	11人
3月2日(日) 10:00～15:00	ジュニアリーダー育成研修会②	倉敷市子ども会連合会 小中高生	無料	18人
合計	全6回			140人

(23) 小学校の先生のためのわくわく理科教室



小学校の教員が共に学びあう講座。実験実技を中心とした理科学習の指導法や授業作りについて研修する。

記載のないものは実施時間 10:00～12:00

実施日	タイトル	対象	講師	所属	参加人数
4月6日(土)	春の理科授業対策	教員	河村 勝則 西村 誠	緑丘小学校 倉敷科学センター	12人
4月29日(月) ※昭和の日	4年「動物のからだのつくりと運動」 6年「動物のからだのはたらき」	教員	西村 誠	倉敷科学センター	8人
5月19日(日)	4年「電流のはたらき」 6年「植物のからだのはたらき」	教員	西村 誠 吉岡 勉	倉敷科学センター	11人
6月8日(土)	5年「魚のたんじょう」	教員	吉岡 真	長尾小学校	10人
6月29日(土)	科学の楽しさ『大爆発』スペシャル	教員	河村 勝則 西村 誠	緑丘小学校 倉敷科学センター	9人
8月1日(木)	わくわく理科教室スペシャル	教員	高木 盛雄	岡山大学教師教育 開発センター	29人
8月23日(金) 14:00～16:30	小教研夏季研修会	教員	中西 亮太 大崎 行博	岡山大学教育学部附属小学校 初任者指導教官	44人
9月4日(水) 14:00～16:30	プラネタリウム鑑賞 (4年・6年「月や星の動きと今夜の星空」)	教員	石井 元巳 西村 誠	倉敷科学センター	14人
10月14日(月) ※スポーツの日	5年「物のとけ方」	教員	的山 直幸	第三福田小学校	14人
11月4日(月) ※文化の日振替	6年「電気と私たちの暮らし」	教員	光畑 俊輝	倉敷東小学校	14人
12月7日(土)	3年「磁石の性質」 5年「人の誕生」	教員	吉岡 真 西村 誠	長尾小学校 倉敷科学センター	12人
12月26日(木) 14:00～16:00	6年「水溶液のはたらき」予備実験会	教員	西村 誠	倉敷科学センター	13人
1月18日(土)	4年「水のすがたと温度」	教員	石川 雄大 吉岡 勉	岡山県教育委員会 倉敷科学センター	中止
2月15日(土)	5年「ふりこのきまり」	教員	三原 進平 西村 誠	老松小学校 倉敷科学センター	6人
3月16日(日)	楽しい科学遊び&実験器具ガイド	教員	吉岡 勉 西村 誠	倉敷科学センター	7人
合計	全 15 回				203人

4 広報・普及事業

科学センターで開講される科学講座やプラネタリウムのイベントなどを広く知ってもらうために、機関紙の発行やインターネットでの広報活動を行っている。

(1) 科学センターNEWS

No.	タイトル	発行月日	掲載内容
105	2024 夏号	6 月 18 日	夏休み企画展他
106	2024 秋号	9 月 19 日	青少年のための科学の祭典他
107	2024 冬号	12 月 12 日	星景写真展「星空のある風景」他
108	2025 春号	3 月 18 日	こどもの日スペシャル他

(2) イベント等チラシ配布

内容	配付日	対象
「わくわく実験室・工作室」年間予定	4 月 18 日	市内幼・保・認定こども園、市内小学校
「指導者講習会」案内	5 月 17 日	市内児童クラブ
夏休み企画展「昆虫キングダム」案内 チラシ	7 月 10 日	高梁川流域小学校※、岡山市・玉野市小学校、市内幼・保・認定こども園等
プラネタリウム番組案内チラシ(夏)		高梁川流域小学校等
全天周映画案内チラシ(夏)	9 月 5 日	高梁川流域小学校等
「平松 正顕天文講演会」案内チラシ	9 月 5 日	市内小学校 5・6 年生、市内公民館
「青少年のための科学の祭典 2024」案内 チラシ	10 月 1 日	高梁川流域小学校、市内中学校、岡山市小学校・私立小学校等
全天周映画案内チラシ(秋冬)	11 月 6 日	高梁川流域小学校、市内中学校等
プラネタリウム番組案内チラシ(秋冬)		
「吉川 真天文講演会」案内チラシ	1 月 28 日	市内小学校 4・5・6 年生、市内公民館・図書館
全天周映画案内チラシ(春)	3 月 12 日	市内幼・保・認定こども園、高梁川流域小学校 1～4 年生等
プラネタリウム番組案内チラシ(春)		高梁川流域小学校、市内中学校 1・2 年生等

※高梁川流域…倉敷市、笠岡市、井原市、浅口市、総社市、高梁市、新見市、早島町、里庄町、矢掛町の 7 市 3 町

(3) その他

- ① 科学センターホームページ <https://kurakagaku.jp/>
- ② スタッフブログ <http://kurakagaku.jp/category/staff-blog/>
- ③ 「広報くらしき」や「ライフパークアイ」等にも情報を掲載している。

他、メールマガジンやYouTube配信も行っている。

Ⅲ 統計資料

1 月別開館日数（令和 7 年 3 月 31 日現在）

単位：日

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
平成 27 年度	26	27	25	27	26	26	27	25	24	24	24	27	308
平成 28 年度	26	26	26	27	26	26	26	26	23	23	24	27	306
平成 29 年度	26	26	26	26	27	26	26	26	23	23	24	27	306
平成 30 年度	26	26	26	24	27	26	26	26	23	23	24	27	304
令和 元年度	26	26	26	26	27	25	27	26	23	23	25	11	291
令和 2 年度	0	0	25	27	26	26	27	25	24	24	24	26	254
令和 3 年度	26	11	8	27	16	0	27	25	23	23	3	8	197
令和 4 年度	26	26	26	27	26	25	26	26	22	23	24	27	304
令和 5 年度	26	26	26	26	27	26	26	26	23	23	25	27	307
令和 6 年度	25	27	26	26	27	25	27	26	23	23	24	26	305

※開館日とは、一般の利用者が科学展示室またはプラネタリウムに入館が可能な日とする。ただし、一日のうちで部分的に休館した日を含む。

※令和 2 年 3 月～4 年 3 月、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための休館期間あり。

2 月別入館者（令和 7 年 3 月 31 日現在）

単位：人

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
平成 27 年度	7,385	14,807	7,964	23,563	47,504	14,663
平成 28 年度	7,476	17,986	10,091	16,947	30,620	16,260
平成 29 年度	7,116	15,968	10,002	20,475	42,956	14,754
平成 30 年度	7,659	18,780	10,540	12,058	42,227	10,947
令和 元年度	18,182	17,335	12,836	19,532	40,479	16,886
令和 2 年度	0	0	3,078	6,134	8,657	6,987
令和 3 年度	4,701	2,214	1,543	10,745	10,450	0
令和 4 年度	7,140	7,964	7,762	14,315	20,283	12,067
令和 5 年度	7,111	11,915	7,674	18,481	32,547	14,895
令和 6 年度	8,550	12,956	11,560	17,915	32,859	17,280

	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
平成 27 年度	17,389	21,002	6,124	6,458	8,618	9,016
平成 28 年度	14,555	18,466	4,962	6,486	10,188	9,020
平成 29 年度	19,784	14,806	5,031	6,796	11,370	10,098
平成 30 年度	8,415	12,525	2,901	3,225	5,560	10,728
令和 元年度	16,182	14,039	4,712	5,412	9,319	906
令和 2 年度	10,584	8,774	3,629	2,826	4,455	6,353
令和 3 年度	12,483	11,554	6,057	3,703	33	1,549
令和 4 年度	14,146	13,029	5,037	5,491	8,081	8,477
令和 5 年度	14,223	16,518	6,196	6,307	10,218	14,403
令和 6 年度	17,484	18,740	5,906	5,963	11,941	15,052

	合計
平成 27 年度	184,493
平成 28 年度	163,057
平成 29 年度	179,156
平成 30 年度	145,565
令和 元年度	175,820
令和 2 年度	61,477
令和 3 年度	65,032
令和 4 年度	123,792
令和 5 年度	160,488
令和 6 年度	176,206

3 利用者内訳（令和 7 年 3 月 31 日現在）

単位：人

	学校団体	一般団体	個人	講座その他	合計
平成 27 年度	37,073	6,401	111,160	29,859	184,493
平成 28 年度	32,960	4,445	94,763	30,889	163,057
平成 29 年度	32,581	5,563	114,066	26,946	179,156
平成 30 年度	21,738	6,222	87,790	29,815	145,565
令和 元年度	26,558	9,072	114,810	25,380	175,820
令和 2 年度	15,760	1,023	42,045	2,649	61,477
令和 3 年度	18,745	560	42,847	2,880	65,032
令和 4 年度	25,931	2,312	85,483	10,066	123,792
令和 5 年度	28,970	6,232	108,920	16,366	160,488
令和 6 年度	28,727	7,191	121,926	18,362	176,206

4 地域別学校・園団体（令和 7 年 3 月 31 日現在） 単位：人

	小学校			
	市内	県内	県外	小計
平成 27 年度	8,056	12,943	4,236	25,235
平成 28 年度	8,115	11,967	4,383	24,465
平成 29 年度	7,580	12,092	4,082	23,754
平成 30 年度	3,876	8,493	3,500	15,869
令和 元年度	6,379	11,077	3,789	21,245
令和 2 年度	5,111	6,891	1,332	13,334
令和 3 年度	5,131	9,520	1,683	16,334
令和 4 年度	6,442	10,998	4,232	21,672
令和 5 年度	6,229	10,776	5,642	22,647
令和 6 年度	6,463	9,876	5,954	22,293

	幼・保	中学校	高等学校	支援学校	大学生
平成 27 年度	8,338	1,964	540	516	480
平成 28 年度	7,180	441	94	349	431
平成 29 年度	7,651	277	119	183	597
平成 30 年度	4,406	457	232	288	486
令和 元年度	4,180	231	265	469	168
令和 2 年度	1,723	544	61	98	0
令和 3 年度	1,466	231	321	358	35
令和 4 年度	3,482	246	99	386	46
令和 5 年度	5,377	412	174	314	38
令和 6 年度	5,581	388	60	339	66

	総合計
平成 27 年度	37,073
平成 28 年度	32,960
平成 29 年度	32,581
平成 30 年度	21,738
令和 元年度	26,558
令和 2 年度	15,760
令和 3 年度	18,745
令和 4 年度	25,931
令和 5 年度	28,962
令和 6 年度	28,727

※小学校は、地域別に計算

5 展示室・プラネタリウム・講座(令和7年3月31日現在)

単位：人

	展示室	プラネタリウム	講 座	合 計
平成 7 年度	65,132	47,881	12,948	125,961
平成 8 年度	56,483	39,481	8,434	104,398
平成 9 年度	56,145	39,511	11,859	107,515
平成 10 年度	53,168	38,137	11,481	102,786
平成 11 年度	56,353	55,507	26,588	138,448
平成 12 年度	60,712	61,608	25,723	148,043
平成 13 年度	58,443	57,693	42,257	158,393
平成 14 年度	79,985	76,625	50,697	207,307
平成 15 年度	67,019	60,328	32,756	160,103
平成 16 年度	63,514	51,718	29,655	144,887
平成 17 年度	58,586	54,373	26,611	139,570
平成 18 年度	68,494	68,307	25,301	162,102
平成 19 年度	44,216	61,998	28,067	134,281
平成 20 年度	83,424	66,701	29,694	179,819
平成 21 年度	69,414	59,276	34,368	163,058
平成 22 年度	71,776	59,693	30,723	162,192
平成 23 年度	86,350	75,643	55,099	217,092
平成 24 年度	88,600	70,395	30,799	189,794
平成 25 年度	75,477	53,012	27,072	155,561
平成 26 年度	90,556	58,793	29,062	178,411
平成 27 年度	92,339	62,295	29,859	184,493
平成 28 年度	79,477	52,691	30,889	163,057
平成 29 年度	89,627	62,583	26,946	179,156
平成 30 年度	80,222	35,528	29,815	145,565
令和 元年度	84,183	66,257	25,380	175,820
令和 2 年度	32,908	25,920	2,649	61,477
令和 3 年度	37,069	25,083	2,880	65,032
令和 4 年度	66,599	47,127	10,066	123,792
令和 5 年度	88,541	55,581	16,366	160,488
令和 6 年度	97,709	60,135	18,362	176,206
合計	2,180,810	1,708,950	767,459	4,657,219

6 いきいきパスポート利用者数(令和7年3月31日現在)

単位：人

	展示室	プラネタリウム	計
平成 27 年度	7,026	4,044	11,070
平成 28 年度	6,407	3,329	9,736
平成 29 年度	7,157	4,188	11,345
平成 30 年度	6,643	2,945	9,588
令和 元年度	6,962	5,036	11,998
令和 2 年度	2,104	1,893	3,997
令和 3 年度	2,551	1,920	4,471
令和 4 年度	4,014	3,003	7,017
令和 5 年度	4,838	3,592	8,430
令和 6 年度	6,140	3,719	9,859

7 真備天体観測施設(たけのこ天文台)(令和7年3月31日現在)

単位：人

	一般開館		講座		合計
	日数	利用者	開催数	参加者	
平成 20 年度	34	305	7	150	455
平成 21 年度	38	540	6	104	644
平成 22 年度	26	315	8	111	426
平成 23 年度	28	163	5	50	213
平成 24 年度	22	168	9	146	314
平成 25 年度	22	117	6	144	261
平成 26 年度	22	94	5	77	171
平成 27 年度	22	259	7	67	326
平成 28 年度	18	144	8	63	207
平成 29 年度	22	213	11	42	255
平成 30 年度	8	16	0	0	16
令和 元年度	0	0	0	0	0
令和 2 年度	3	18	0	0	18
令和 3 年度	19	130	0	0	130
令和 4 年度	16	113	0	0	113
令和 5 年度	14	147	0	0	147
令和 6 年度	8	63	8	57	120
合計	437	3,290	107	1,529	4,819

8 夏休み企画展の内容と8月の入館者数

	8月 入館者数	企画展の内容
平成 11 年度	34,516	からくりおもちゃの世界
平成 12 年度	34,261	～目のトリック大集合！～ふしぎ！錯覚ワールド展
平成 13 年度	31,856	数学とあそぼう～かたちと数のワンダーランド～
平成 14 年度	49,196	恐竜ワンダーランド～ヒサクニヒコ恐竜原画展～
平成 15 年度	37,104	ダンボールワールド展
平成 16 年度	28,437	からくりビックリ家具展
平成 17 年度	24,940	おもちゃワールド展
平成 18 年度	42,225	恐竜発見ジュラ紀の歩き方
平成 19 年度	34,448	3D立体展
平成 20 年度	40,987	世界のからくりミュージアム(リニューアル年)
平成 21 年度	33,662	宇宙LIFE展
平成 22 年度	29,443	飛行機の科学展
平成 23 年度	41,144	恐竜ランド
平成 24 年度	42,993	わくわく昆虫ランド
平成 25 年度	29,711	小惑星探査機はやぶさと宇宙機大集合
平成 26 年度	46,903	恐竜パーク2014
平成 27 年度	47,504	生命～恐竜が倉敷にやってきた～
平成 28 年度	30,620	わくわくデジタルランド
平成 29 年度	42,956	とんでも翼竜ランド
平成 30 年度	42,227	歩き出せ！みんなの恐竜パーク
令和 元年度	40,479	鏡の魔法展
令和 2 年度	8,657	中止（科学ニンジャ学校）
令和 3 年度	10,450	科学ニンジャ学校
令和 4 年度	20,283	科学捜査展
令和 5 年度	32,547	なりきり恐竜ランド
令和 6 年度	32,859	昆虫キングダム

IV 開館からのあゆみ

年	月日	イベント
1993	4月24日	ライフパーク倉敷・倉敷科学センターオープン
1994	7月	第1回夏の企画展開始
	10月	サイエンスショー上演開始
1995	6月6日	宇宙飛行士「毛利衛」講演会
1996	10月	総入館者数 50 万人達成
1998	6月	科学館情報紙「科学センターNEWS」発行開始
1999	7月	プラネタリウム・全天周映画を分離投映へ⇒料金改定(条例改正)
2000	11月25日	総入館者数 100 万人達成
2001	9月	子どもたちが磨いた金属鏡が StarShine 衛星に搭載され宇宙へ
2003	3月	連島東小 4 年の池田さん“博物館の達人”に認定。野依科学奨励賞受賞
	4月24日	オープン 10 周年
2004	1月	日本初となる移動プラネタリウム出前授業を運用開始
2005	1月25日	宇宙学校・倉敷開催(宇宙航空研究開発機構(JAXA)共催)
2006	4月23日	科学技術週間「サイエンスカフェ倉敷」開催(大原美術館)
2007	2月8日	プラネタリウム投映通算 1 万回達成
	3月18日	総来館者数 200 万人達成
2008	3月22日	科学展示室リニューアルオープン
2010	4月より	くらしき宇宙セミナー(星のソムリエ講座)開始
	12月より	はやぶさ 7 回シリーズ連続講演会 開始
2011	10月27日	はやぶさ帰還カプセル特別公開(～30 日まで 4 日間／期間中の来館者数約 2 万 4 千人)
2012	11月10日	総入館者数 300 万人達成
2013	4月24日	オープン 20 周年
	7月20日	宇宙飛行士「山崎直子」講演会(国際ソロプチミスト児島主催)
	8月18日	国登録有形文化財「旧倉敷天文台スライディングループ観測室」移築
2014	9月6日	宇宙学校・倉敷開催(宇宙航空研究開発機構(JAXA)共催)
2015	11月10日	国際宇宙ステーション滞在中の油井宇宙飛行士との交信イベント(名古屋市科学館主催)
2016	4月13日	富田隕石落下 100 周年を記念して展示解説会を実施
2018	4月24日	オープン 25 周年
	7月6日	平成 30 年 7 月豪雨被災のため真備天体観測施設を休館(復旧見込は 2021 年1月以降)
	8月31日	総入館者数 400 万人達成
2019	3月27日	プラネタリウムリニューアルオープン
	4月29日	リニューアルオープン後のプラネタリウム通算観覧者数 1 万人達成(30 営業日目)
2020	3月14日	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の拡大防止に伴う臨時休館(～5月31日)
	9月5日	プラネタリウム投映通算 2 万回達成
2021	2月6日	平成 30 年 7 月豪雨で被災した真備天体観測施設の運営を再開
	5月14日	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の拡大防止に伴う臨時休館(～6月20日)
	8月20日	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の拡大防止に伴う臨時休館(～9月30日)
2022	2月4日	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の拡大防止に伴う臨時休館(～3月22日、ただし科学展示室は～3月31日)
2023	3月21日	幼児を連れた家族を対象とする「こどもむけ★むらねたりうむ」を試験的に上演
	4月24日	オープン 30 周年
	6月12日	全国プラネタリウム協議会(JPA)全国大会開催(～14日)
	10月21日	全国一斉プラネタリウム 100 周年記念企画「みんなで見上げよう！100 年前の星空」開催

2023	11 月 14 日	博物館法改正に伴い「博物館」として再登録
2024	3 月 11 日	旧倉敷天文台スライディングルーフ観測室が「倉敷天文台と関連遺産」として日本天文遺産に認定・それに伴い修繕工事開始
	6 月 30 日	旧倉敷天文台スライディングルーフ観測室の修繕工事が完了
	9 月 3 日	キャッシュレス決済開始
	11 月 16 日	小惑星「イトカワ」「リュウグウ」粒子サンプル特別展示 in 倉敷開催(～12 月 1 日)

ライフパーク倉敷科学センター

〒712-8046 岡山県倉敷市福田町古新田 940 番地

T E L : 086-454-0300

F A X : 086-454-0304

E-mail : ksc@kurakagaku.jp

ウェブサイト <https://kurakagaku.jp/>